【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【公表番号】特表2004-502243(P2004-502243A)
【公表日】平成16年1月22日(2004.1.22)
【年通号数】公開・登録公報2004-003
【出願番号】特願2002-506499(P2002-506499)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　17/60
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　２３４Ｚ
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　２０２
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　２３４Ｇ
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　２３４Ｑ
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　３１４
　Ｇ０６Ｆ　17/60　　ＺＥＣ

【手続補正書】
【提出日】平成15年10月15日(2003.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　取引者間で商品を取引きするための匿名取引システムであって、
　電子メッセージを送信するための通信ネットワークと、
　前記通信ネットワークに接続している複数の取引者端末であって、各取引者端末が、入札注文および／またはオファー注文を含む、電子注文メッセージを作成し、前記ネットワークを通して、他の取引者端末と通信する複数の取引者端末と、
　前記ネットワークに接続され、前記取引者端末から、入力された入札注文およびオファー注文を照合し、注文が一致した場合に、取引きの実行をアシストする、少なくとも１つの照合エンジンと、
　前記取引者端末に電子注文メッセージを配布するために、前記ネットワークを接続していて、前記注文メッセージおよび前記照合エンジンに応答するマーケット配給手段と、
　少なくとも１個の前記照合エンジンに関連づけられており、複数の機関に対するクレジット限度を記憶するクレジット仲介手段とを備え、記憶している各クレジット限度が、各機関における１以上の取引フロアによる、相手方の機関の１以上の取引フロアとの取引きに対して使用することができるクレジットを表す匿名取引システム。
【請求項２】
　請求項１記載の匿名取引システムにおいて、複数の照合エンジンを備え、各照合エンジンが、関連づけられているクレジット仲介手段を含む匿名取引システム。
【請求項３】
　請求項２記載の匿名取引システムにおいて、前記照合エンジンおよび関連するクレジット仲介手段が、ローカル・エリア・ネットワーク（ＬＡＮ）により接続されている匿名取引システム。
【請求項４】
　請求項１記載の匿名取引システムにおいて、前記照合エンジン、前記市場の配給手段、

および前記クレジット仲介手段が、１つの仲介ノードの中に設けられている匿名取引システム。
【請求項５】
請求項４記載の匿名取引システムにおいて、複数の仲介ノードを備える匿名取引システム。
【請求項６】
請求項１から請求項５の何れか１つに記載の匿名取引システムにおいて、前記クレジット仲介手段が、前記照合エンジンからクレジットリザベーションメッセージを受信し、前記クレジットリザベーションメッセージ内で識別された提案の取引きに対する当事者の識別をチェックし、前記提案の取引きに対する前記当事者が、前記取引きを完了するために、相互に有効なクレジットを持っているかどうかをチェックするための手段を備える匿名取引システム。
【請求項７】
請求項１記載の匿名取引システムにおいて、前記クレジット・チェック手段が、取引き金額を、クレジット限度を表している通貨におけるクレジット利用に変換するための手段を含む匿名取引システム。
【請求項８】
請求項６または請求項７記載の匿名取引システムにおいて、前記クレジット仲介手段が、１人またはそれ以上の別のクレジット仲介手段に、これら仲介手段が、前記クレジット仲介手段が、提案の取引きに対して十分な全クレジットを持っているが、前記クレジット仲介手段に、前記クレジットの中の不十分な金額が割り当てられたと判断した場合に、所定の当事者に割り当てられたクレジットを持っているかどうかを問い合わせるための手段と、前記遠隔の１人のクレジット仲介手段または複数のクレジット仲介手段に、それが存在するかどうかをたずねるための手段を備える匿名取引システム。
【請求項９】
請求項８記載の匿名取引システムにおいて、前記クレジット仲介手段が、所定の当事者に割り当てられたクレジットの少なくとも一部を前記他のクレジット仲介手段に移転させるための手段を備える匿名取引システム。
【請求項１０】
請求項８または請求項９記載の匿名取引システムにおいて、前記クレジット仲介手段が、前記照合エンジンに前記取引きを完了するのに十分なクレジットが、リザーブされたことを示すための手段を含む匿名取引システム。
【請求項１１】
請求項１から請求項１０の何れか１つに記載の匿名取引システムにおいて、前記クレジット仲介手段が、前記全取引き金額に対して、前記当事者の一方または両方のクレジットが不足しているが、使用できる前記クレジットが、予め定めた最低値以上である場合に、ある取引きの金額を低減するための手段を備える匿名取引システム。
【請求項１２】
商品の匿名取引用の自動取引きシステムであって、
複数の相互に接続している仲介ノードを有するコンピュータ通信ネットワークと、
複数の取引フロア内に、グループ分けされている複数の取引者端末と、を含み、
各取引フロアはそれぞれの仲介ノードの１個に接続しており、
各仲介ノードは、取引者端末から前記システムに入力された入札注文およびオファー注文を照合するための照合エンジンと、注文が一致した場合に、取引きを実行するための手段と、照合エンジンに応じて、前記取引者端末に、注文価格メッセージを配布するための市場配給手段とを備え、
前記システムが、さらに、複数の可能な相手方の機関または可能な相手方の機関の特定の取引フロアまたは取引フロアグループに、複数の各機関が割り当てたクレジット限度を記憶するための少なくとも１つの照合エンジンに関連するクレジット仲介手段を備える自動取引きシステム。

【請求項１３】
請求項１２記載の自動取引システムにおいて、複数の照合エンジンを備え、各照合エンジンが、関連づけられたクレジット仲介手段を含む自動取引システム。
【請求項１４】
請求項１２または請求項１３記載の自動取引きシステムにおいて、前記入札注文およびオファー注文が、価格取引きメッセージとして前記システムに入力され、前記市場配給手段が、前記価格取引きメッセージおよび前記照合エンジンに応じて、価格メッセージを配布する自動取引きシステム。